

(8) 経済学教育における授業モデルの検討

経済学教育FD/ICT活用研究委員会は、22年7月、9月、11月、23年3月の4回開催し、学士力の実現に求められるICT活用の授業モデルの検討を行った。

放送型の一方通行の授業ではなく、双方向の学びを通じて学生が生涯にわたって学びを継続し、振り返り学習を習慣付ける授業デザインを2例とりあげることにした。

一つは、経済学を学んだ学生が、社会において一市民として関与できる能力を身に付けるため、グループワーク型の授業にファシリテーターを導入し、メンバー間でのコミュニケーションを通じて日本経済の姿や直面している課題を議論し、考えさせ、学ばせる授業モデルとした。

二つは、経済学の知識を統合して、倫理感と責任の上に立ってグローバルな観点から判断できる力を育む授業で、社会人の研究者や海外経験者を交えたプロジェクト型の授業モデルとした。